



## 朝鮮最高人民会議第 14 期第 1 次会議で組織された政権機関

中川 雅彦

2019 年 6 月

(4,545 字)

\* 写真・図表は文末に配置してあります

朝鮮民主主義人民共和国では 2019 年 3 月 12 日に、日本の国会総選挙に相当する最高人民会議代議員選挙が実施され、4 月 11 日に最高人民会議第 14 期第 1 次会議が開催された。この会議では、金正恩が国家の最高位である國務委員会委員長に再選され、國務委員会および内閣などの国家機関が改めて組織された。ここでは、今回組織された最高人民会議、國務委員会、内閣の人員構成をみていく。

### 最高人民会議

最高人民会議は非常設の国家の最高機関である。任期は 5 年とされており、前回の選挙が 2014 年 3 月であったことから、今回の選挙はその規定どおりに実施された。選挙区は選挙のたびに人口をもとにした地方の選挙区と基準が明らかにされていない軍隊の選挙区が設定され、各選挙区からは 1 人の代議員が選出される。選挙区の数 は 687 区、代議員の数は同じく 687 人である。1998 年の第 10 期以降の道（日本の県に相当）・直轄市別の代議員数を見ると、これまで行政区域の変更による変更を除けば、選挙区の大変動は見られず、今回も大きな変動はなかった（表 1）。

代議員の入れ替わりについては、第 10 期がその前の選挙から 8 年という長い期間があったためとくに新人の数が多く 6 割に達したのを除けば、これまで新人の割合は 5 割ほどであり、今回の第 14 期も同様であった（表 2）。

なお、4 月 11 日に開催された最高人民会議第 14 期第 1 次会議では代議員の社会成分別構成、年齢別構成、男女比も発表された。第 10 期から今回の第 14 期までの社会成分別構成に関して発表された数字は表 3 のとおりである。

表 3 では第 10～11 期で労働者が 3 割を超しているのに対して、第 12 期以降はそれが 1 割程度になっている。これは筆者が代議員名簿を調べたところ、第 10～11 期は工業部門に属する代議員をすべて労働者に分類したのに対して、第 12 期以降は工業部門に属する代議員のうち、支配人など経営陣の人物を除いたためであることがわかっている。したがって、これまでのところ、社会成分別の構成に関して大きな変化は生じていないことが確認される。

このほか、年齢別構成、男女比についても発表されているが、その数値を見る限り、これまでに代議員に関して構成上の大きな変化は確認されない（表 4、5）。

## 国務委員会のメンバー

国務委員会は 2016 年の憲法改正で「国家の最高政策的指導機関」として設置されたもので、それまでの国防委員会を継承したものである。国防委員会も国務委員会もそのトップには金正恩が就いていたが、国防委員会が軍事および保安部門と軍事経済部門のメンバーで構成されていたのに対して、国務委員会はこれらに加えて内閣総理と外務相、労働党中央委員会組織指導部、軍需工業部、宣伝煽動部の責任者で構成された。そして今回の最高人民会議第 14 期で選出された国務委員会のメンバーは表 6 のとおりである。

今回の国務委員会は委員長金正恩以下、副委員長 1 人と委員 11 人で構成されている。うち、新たに委員になった者は 3 人であり、今回新たに内閣総理になった金在龍、人民軍総政治局長の金秀吉、外務省第 1 副相（第 1 次官）の崔善姫である。

新たな内閣総理である金在龍は、前職が慈江道党委員長であり、その前は平安北道の党秘書（党書記）であったことがわかっているが（『労働新聞』2010 年 9 月 30 日）、それ以前の経歴は知られていない。人民軍総政治局長である金秀吉は、2018 年 5 月にその職にあることが判明したが、その前は平壤市党委員長、それ以前は人民軍総政治局組織担当副局長である。この 2 人の異動はそれぞれ総理の交代と人民軍総政治局長の交代によるものである。

崔善姫の場合はこれらと異なっている。崔善姫は 1990 年代にクアラルンプールでアメリカとの会談が行われているときに現地で記者発表をしばしば実施したことで知られ、2016 年には外務省米州局副局長として北京での国際会議にも出席し、2018 年には外務省副相としてアメリカとの交渉で実務交渉を担当した。崔善姫の国務委員会委員就任は、崔善姫が直接金正恩から指示を受ける立場にあることを示すとともに、対米交渉を金正恩が重く見ていることを示したものである。

## 内閣のメンバー

内閣は「経済の司令塔」と位置付けられており、国家の経済政策および国家計画委員会が策定する計画を執行するための機関である。今回は総理を含めて 47 人のメンバーが任命された。うち、新任は総理を含めて 9 人にすぎない（表 7）。

## 今回の人事の特徴

新たに発足した第14期最高人民会議の代議員構成、その下に組織された國務委員会と内閣のメンバーからみてとれることは以下のとおりである。

第1に、最高人民会議代議員の構成からは政治権力に関する大きな社会的変化を見出すことができない。金正恩にすべての国家の権限が集中した体制は強い安定性を示している。

第2に内閣総理の交代にもかかわらず、大きな政策の変更を示すものはない。前総理の朴鳳柱が國務委員会副委員長という総理よりも上位の地位についていることは、新たな内閣は朴鳳柱が進めてきた政策を継承するということを意味している。

第3に國務委員会のメンバーに崔善姫外務省第1副相が入ったことは、最高指導者の金正恩が対米政策を重視していることを示している。

なお、今回の最高人民会議代議員選挙では金正恩が名簿になかったという特異な現象があった。これに関しては、代議員にならなくても最高指導者の権威と権限が不変であることを示したものであると思われる。

## 写真の出典

- 最高人民会議が開会される万寿台議事堂：North Korea—Pyongyang, (stephan) [CC BY-SA 2.0 (<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/2.0>)]

## 著者プロフィール

中川雅彦（なかがわまさひこ）。アジア経済研究所在ソウル海外調査員（2017年3月～）。主要著書は、『朝鮮社会主義経済の理想と現実——朝鮮民主主義人民共和国における産業構造と経済管理』アジア経済研究所 2011年、『アジアは同時テロ・戦争をどう見たか』（編著）明石書店 2002年、『アジアが見たイラク戦争』（編著）明石書店 2003年、『朝鮮社会主義経済の現在』（編著）アジア経済研究所 2009年、『朝鮮労働党の権力後継』（編著）アジア経済研究所 2011年、『朝鮮史2』（共著）山川出版社 2017年。





最高人民会議が開会される万寿台議事堂

表1 道・直轄市および軍事部門の代議員数

投票日	第10期 1998年7月26日	第11期 2003年8月3日	第12期 2009年3月8日	第13期 2014年3月9日	第14期 2019年3月12日
平壤市	82	82	82	81	81
平安南道	84	84	106	81	82
南浦市	22	23	平安南道に含む	26	26
平安北道	77	77	78	78	77
慈江道	36	36	36	35	35
黄海南道	61	61	61	62	62
黄海北道	45	55	56	62	62
開城市	11	黄海北道に含む	黄海北道に含む	黄海北道に含む	黄海北道に含む
江原道	40	40	39	38	38
咸鏡南道	82	84	84	80	80
咸鏡北道	66	64	64	57	57
羅先市	咸鏡北道に含む	咸鏡北道に含む	咸鏡北道に含む	5	5
両江道	20	20	20	20	20
軍隊	61	61	61	62	62
計	687	687	687	687	687

(出所) 各期代議員名簿より筆者作成。

表2 代議員の新人および再選者数

	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期
新人	418	339	319	372	348
再選者	269	348	368	315	339
計	687	687	687	687	687

(出所) 表1に同じ。

表3 代議員の社会成分別構成

投票日	第10期 1998年7月26日	第11期 2003年8月3日	第12期 2009年3月8日	第13期 2014年3月9日	第14期 2019年3月12日
労働者	31.3%	33.4%	10.9%	12.7%	16.2%
協同農民	9.3%	9.3%	10.1%	11.1%	9.6%
軍人	16.9%*	16.2%*	16.9%	17.2%	17.2%
事務員等	42.5%*	41.1%*	62.1%	59.0%	57.0%

(出所) 最高人民会議各期の第1次会議における資格審査委員会の報告。\*は筆者が代議員名簿から調べたもの。

表4 代議員の年齢別構成

	第10期	第11期	第12期		第13期	第14期
55歳以上	49.6%	47.7%	50.5%	60歳以上	29.2%	31.3%
36～54歳	48.5%	50.1%	48.5%	40～59歳	66.9%	63.9%
35歳以上	1.9%	2.2%	1.0%	39歳以下	3.9%	4.8%

(出所) 最高人民会議各期の第1次会議における資格審査委員会の報告。

表5 男女比

	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期
男性	79.1%	79.1%	84.4%	83.7%	82.4%
女性	20.1%	20.1%	15.6%	16.3%	17.6%

(出所) 最高人民会議各期の第1次会議における資格審査委員会の報告。

表6 国務委員会メンバー名簿（2019年4月11日）

	氏名	日常的な職責	新任/再任
委員長	金正恩	党委員長	再任
副委員長	朴鳳柱	党副委員長・前内閣総理	再任
委員	金在龍	内閣総理	新任
委員	李万建	党副委員長兼軍需工業部長	再任
委員	李洙堉	党副委員長兼国際部長	再任
委員	金英哲	党副委員長兼党統一戦線部長	再任
委員	太鍾守	党副委員長、前軍需工業部長	再任
委員	李容浩	外務相	再任
委員	金秀吉	人民軍総政治局長	新任
委員	努光哲	人民武力相	再任
委員	鄭京澤	国家保衛相	再任
委員	崔富日	人民保安相	再任
委員	崔善姫	外務省第1副相	新任

（出所）筆者作成。

表7 内閣メンバー名簿（2019年4月11日）

	氏名	新任/再任
総理	金在龍	新任（前慈江道党委員長）
副総理兼国家計画委員会委員長	盧斗哲	再任
副総理	任哲雄	再任
副総理	金徳勳	再任
副総理	李周五	再任
副総理	金龍南	再任
副総理	全光浩	再任
副総理	董正浩	再任
副総理兼農業相	高仁浩	再任
外務相	李容浩	再任
電力工業相	金万洙	再任
石炭工業相	文明学	再任
金属工業相	金忠傑	再任
化学工業相	張吉龍	再任
鉄道相	張赫	再任
陸海運相	姜鍾寬	再任

採取工業相	廉哲洙	新任（前採取工業省鈹業管理局局長）
国家資源開發相	金哲洙	新任（前国家資源開發省局長）
原油工業相	高基哲	新任（前原油工業省副相）
林業相	韓龍国	再任
機械工業相	楊承浩	新任（前機械工業省副相、元大安重機械聯合 企業所支配人）
船舶工業相	姜哲九	新任（前職不明）
原子力工業相	王昌旭	再任
電子工業相	金在成	再任
通信相	金光哲	再任
建設建材工業相	朴勳	再任
国家建設監督相	權相浩	再任
輕工業相	崔一龍	再任
日用工業相	李江善	再任
水產相	宋春燮	再任
財政相	奇光浩	再任
労働相	尹江浩	新任（前職不明）
對外經濟相	金英才	再任
国家科学技術委員會委員長	李忠吉	再任
国家科学院院長	張哲	再任
国土環境保護相兼國務委員會山林 政策監督局長	金京俊	再任
都市經營相	姜英洙	再任
收賣糧政相	文応助	再任
商業相	金京南	再任
教育委員會委員長	金承斗	再任
金日成綜合大学總長兼党指導委員 會委員長・教育委員會高等教育相	崔相建	新任（前党科学教育部長）
保健相	吳春福	新任（前職不明）
文化相	朴春南	再任
体育相	金日国	再任
中央銀行總裁	金天均	再任
中央統計局長	崔承浩	再任
内閣事務長	金英浩	再任

（出所）筆者作成。